社会資本総合整備計画書（事後評価書）

計画名　社会資本総合整備計画書住田町の心地よい生活環境を支える道づくり

平成29年6月19日

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）　事後評価書

平成 29年 6 月 19 日

計画の名称	住田町の心地よい生活環境を支える道づくり		
計画の期間	平成22年度　～　平成26年度　（5年間）	交付対象	住田町

計画の目標

住田町内の国道及び県道へのアクセスを円滑にし地域の産業振興・生活環境の確立を図り、豊かな自然につつまれた快適で安全な町づくりを実現する基盤づくりを行う。

計画の成果目標（定量的指標）

・道路整備による平均走行速度アップにより町道間のアクセスを円滑化し国道及び県道までのアクセス時間を短縮
・道路の機能を保全するために対策が必要な箇所の整備率

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値 当初現況値（H22当初）	中間目標値（H24末）	最終目標値（H26末）	備考
町道経路から国道及び県道にアクセスする地域間の通行に要する時間を走行距離及び走行速度により算出する。 アクセス時間（町道経路から国県道までの所要時間（分単位））＝６０分×走行距離ｋｍ（整備延長）/走行速度ｋｍ／ｈ（設計速度）	0分	1分	３分 ３分	
要対策と対策箇所により算出するものであり、その算定式は、（対策済箇所数÷要対策箇所数）×100（%）とする。	11%	53%	100% 71%	

全体事業費	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）	A	B	C	効果促進事業費の割合 Ｃ／（Ａ＋Ｂ＋Ｃ）
	992百万円 473百万円	943百万円 448百万円	0百万円	49百万円 25百万円	4.9% 5.3%

交付対象事業　　上段：計画　　下段：実績

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
19-A1	道路	一般	住田町	直接		市町村道	改築	（１）二度成木船作線　西野工区	道路改良 0.84km	住田町						96	
									道路改良 0.84km							62	
19-A2	道路	一般	住田町	直接		市町村道	改築	（他）役場別当線　川向工区	道路改良 0.16km	住田町						107	
									道路改良 0.16km							79	
19-A3	道路	一般	住田町	直接		市町村道	改築	（他）役場前線　川向工区	道路改良 0.30km	住田町						74	
									道路改良 0.30km							79	
19-A4	道路	一般	住田町	直接		市町村道	改築	（他）長者洞沢田線　長者洞工区	道路改良 0.10km	住田町						21	他の事業で整備完了
									道路改良 0.10km							0	
19-A5	道路	一般	住田町	直接		市町村道	改築	（１）火石川向線　川向工区	道路改良 0.50km	住田町						258	
									道路改良 0.50km							0	
19-A6	道路	一般	住田町	直接		市町村道	改築	（他）深渡線　深渡工区	舗装新設 0.13km	住田町						56	
									道路改良 0.13km							42	
19-A7	道路	雪寒	住田町	直接		市町村道	除雪	（１）新切新田線外12路線	除雪 22.6km	住田町						15	
									除雪 22.6km							12	
19-A8	道路	一般	住田町	直接		市町村道	修繕	（１）合地沢線外7路線	舗装補修　6,0km	住田町						274	
									舗装補修　3.9km							174	
19-A9	道路	一般	住田町	直接		市町村道	改築	（他）川向４号線　川向工区	道路改良 0.12km	住田町						42	
									道路改良 0.12km							0	
										小　計						943 448	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名□	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
												合計				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度） H22	H23	H24	H25	H26	全体事業費（百万円）	備考
3-C1	計画・調査	一般	住田町	直接		計画・調査	橋梁長寿命化修繕計画策定事業	32橋	住田町						9	
								5橋							6	
3-C2	計画・調査	一般	岩手県	直接		計画・調査	道路管理システム整備	道路台帳データベース	住田町						20	
								道路台帳データベース							17	
3-C3	計画・調査	一般	岩手県	直接		計画・調査	道路修繕計画策定事業	道路修繕	住田町						20	
								道路修繕							2	
												小計			49 25	

2　事業効果の発現状況、目標値の達成状況

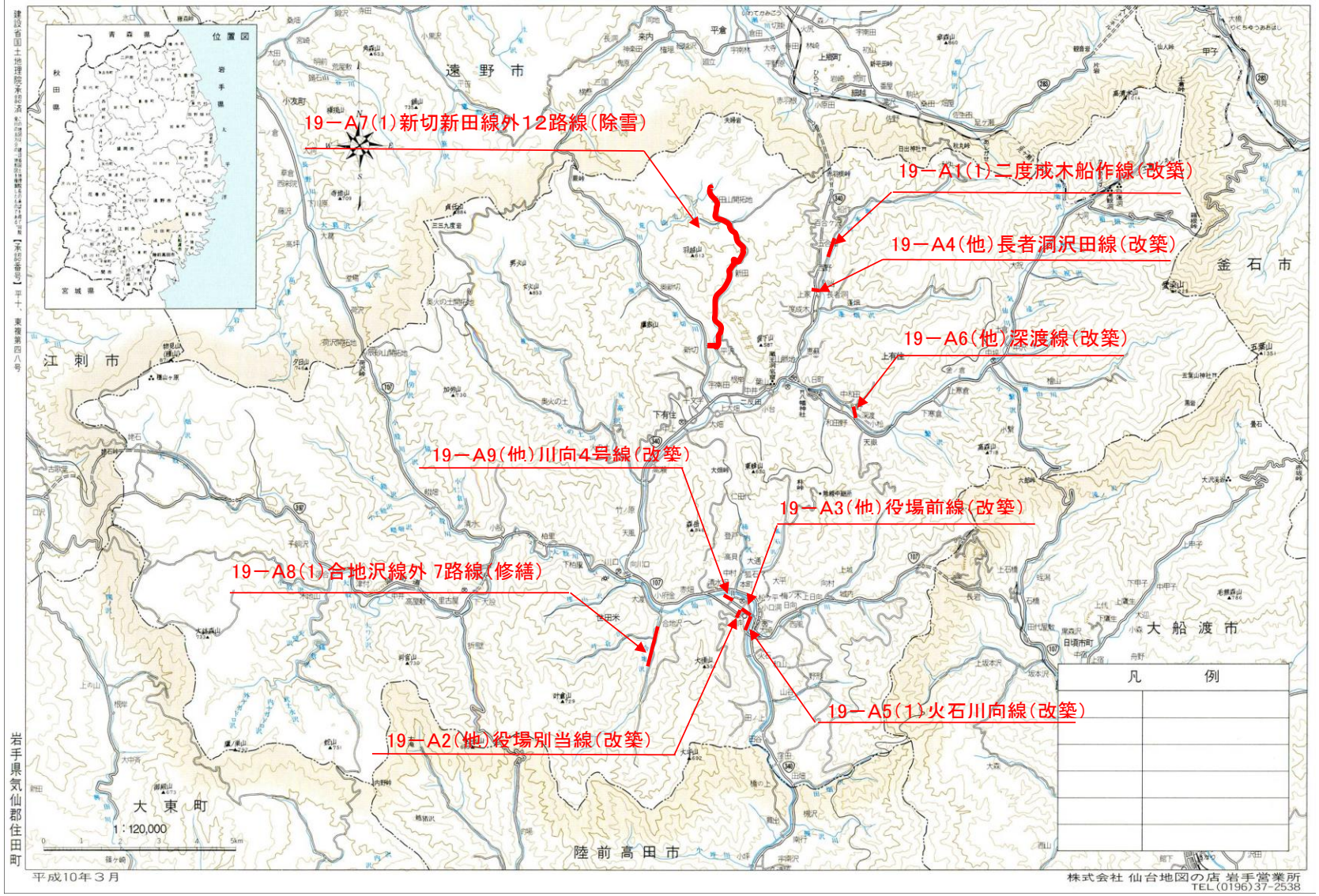
1 定量的指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況	・町道二度成木船作線の現道拡幅を実施した結果、車両のすれ違いさえも困難の箇所等整備したことにより日常生活の安心な生活が図られた。 ・町道役場別当線は、公共施設への連絡道路であることから片側歩道を配置、歩行者の安全と円滑な走行の確保が図られた。 ・町役場前線は、公共施設への連絡道路であることから片側歩道を配置、歩行者の安全と円滑な走行の確保が図られた。 ・町道深渡線の現道拡幅を実施した結果、緊急車等（消防車など）の円滑な走行が図られた。 ・住田町の町道延長に対する舗装整備延長（舗装整備率）の向上させる。

Ⅱ定量的指標の達成状況	指標①アクセス所要時間(分単位))＝60分×走行距離km(整備延長)/走行速度km／h(設計速度)	最終目標値	3分	目標値と実績値に差が出た原因	交付金事業の低内示により、事業進捗が減少したため。
		最終実績値	3分		
	指標②舗装補修延長(舗装整備率)	最終目標値	100%	目標値と実績値に差が出た原因	交付金事業の低内示により、事業進捗が減少したため。
		最終実績値	65%		
Ⅲ定量的指標以外の交付金対象事業の効果発現状況（必要に応じて記述）					

3. 特記事項

・本整備計画は、平成２２年度から平成２６年度までの５年間を計画期間とし、地域の産業振興・生活環境の確立を図り、豊かな自然につつまれた快適で安全な町づくりを目標とし、事業を進めてきた。
平成２６年度以降に事業が継続する箇所について、新たな整備計画のもと、引き続き各事業を進めることにより、地域に密着した道路交通を円滑に確保する道をつくる。

（参考図面）活力創出基盤整備

計画の名称	19　住田町の心地よい生活環境を支える道づくり		
計画の期間	平成22年度　～　平成26年度　（5年間）	交付対象	住　田　町

住田町管内図